

美術科年間評価計画

第1学年 A表現 絵や彫刻など・デザイン工芸などに表現する活動

学年目標 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造してゆく意欲と態度を育てる。
対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。

学期	月	内 容	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
前 期	4	日常生活の中でレタリングがどのように使われているかを知り、明朝体の特徴や描き方を理解する。	伝達手段としてのレタリングに興味を持ち進んで学習に取り組める。		明朝体の特徴を理解し、性格に描くことができる。	完成した作品について自分なりの感想を持ち、それを文章で表現できる。
	5	形や色彩，材料，光などがもたらす性質や感情を理解し，機能的な生かし方を考え，美的感覚を働かせて美しく構成したり，装飾したりすること。 <色彩・構成>	材料の特徴を知り，デザインや工芸に活かそうとする。 形，色彩，材料，光りなどの造形要素の性質を理解する。 自らの生活の場を美しくデザインしようとする。	調和を考えて配色計画を立てることができる。 形や色彩と機能の関係を考え、構成の基本を考えながら、自分の感覚を生かして美しくデザインする。	形や色彩，材料，光と生活や文化との関連を考え，その演出効果を生かそうとする。 混色して新たな色を作ることができる 構成した形を正確に塗ることができる。	
後 期	9	用途や機能，使用する者の気持ち，材料などから発想し構想を練り，つくり方，意図に応じた材料や用具の生かし方などの基礎的技術を身に付け，造形感覚を働かせ創意工夫してつくること。	用途や機能を考えて創意工夫しようとする。 用具を安全且つ適切に用いることができる。	用途や機能，材料の特徴などから発想し，具体化するための構想を練る。 表現意図に応じて用と美を統合できるよう工夫している。。 自由な発想から得たイメージを視覚化し、形を単純化、変形、省略、強調などしてデザインを考える。	用途に合わせて美しくつくる技能を身に付ける。 材料に合った用具を選び，適切に用いる。	完成した作品について自分なりの感想を持ち，それを文章で表現できる。
	10 11 1 2 1 2 3	<木彫> 自然や身近なものの観察し，形や色彩の特徴や美しさなどをとらえスケッチすること。 <デッサン>	創意工夫して，総合的によりよく表そうとする。 観察や表現の過程を通して描画や形の表現の楽しさを味わおうとする。	形，色など，対象のよさや特徴をとらえバランスの良い構図をとれる。	対象を見つめ形や色の美しさなどを捉え，全体と部分との関係に留意しながら性格に描くことができる。 鉛筆による明暗の付け方を学習し，明暗により立体感を表すことができる。	

第1学年 B鑑賞 鑑賞の活動

学年目標 自然や美術作品などについての基礎的理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てる。

学期	月	内 容	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な能力	鑑賞の能力
	4	<p>想像力を働かせ美術作品や児童生徒の表現などに表された作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取り、作品の見方を広げ、多様な表現のよさや美しさなどを味わい、鑑賞に親しむこと。</p> <p>ビデオ ＜ゴッホ＞</p>	<p>美術作品に親しみ、多様な表現の良さや美しさを味わおうとし、鑑賞を楽しもうとする。</p>			<p>作品のメッセージを感じ取る。</p> <p>多様な表現のよさや美しさを味わう。</p> <p>作者の関心や発想、心情や意図と、創造的な表現の工夫とを関連付けて味わう。</p>
	10 12	<p>生活の中のデザインや伝統的な工芸を鑑賞し、豊かな発想と工夫、美と機能性の調和、作品に託された願いと造形的なよさなどに気付き、生活におけるデザインや工芸の働きについて理解すること。</p> <p>感想文 ＜色彩構成＞ ＜木彫＞</p>	<p>生活を美しく心豊かにしようとする美的・創造的思考力と態度がみられる。</p>			<p>生活と結び付いたデザインや工芸のよさを感じ取る。</p> <p>目的をもった表現のための形や色、材料の扱い方の工夫について理解する。</p> <p>四季の移り変わりの中での生活の知恵などについて考えようとする。</p>

第2学年 A表現 絵や彫刻など・デザインや工芸などに表現する活動

学年目標 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造してゆく意欲と態度を高める。
対象を深く見つめる力、感性や想像力をいっそう深め、独創的・総合的な能力を伸ばす。

学期	月	内 容	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な能力	鑑賞の能力					
前 期	4	<p>伝達手段としてのポスターの効果を考え、形や色彩、図柄、材料、光などの構成を簡潔にしたり総合化したり漫画やイラストレーションなど取り合わせを工夫するなどして、美しく心豊かなデザインをすること。</p> <p><ポスター></p>	<p>造形要素の特質や効果を生活上の視覚表現に生かそうとしている。</p> <p>感じたこと、考えたことの有効な伝達方法について考え、題材を選択している。</p> <p>自他の作品のよさを認め、愛着をもって、大切にしようとする。</p>	<p>伝えたいことや主張したい内容についてよく考え、効果的に表現されている。</p> <p>色彩の効果的な扱いや、美的秩序などについて理解する。</p> <p>単純化や強調などによるデフォルメの効果を生かしている。</p> <p>効果的な配色計画を立てられる。</p>	<p>形、色彩、図柄、材料、光りなどの造形要素の視覚的特性を考え、わかりやすく美しく構成する。</p> <p>見る人や使う人の立場に立った、心豊かなデザインをつくる。</p> <p>漫画やイラストレーションのよさを生かし、表現の幅を広げる。</p> <p>混色し新しい色を作ることができる。</p>	<p>完成した作品について自分なりの感想を持ち、それを文章で表現できる。</p>					
	5										
	6										
	7										
	9										
	10						<p>使用する者の気持ちや機能などから独創的に発想し、造形的な美しさ、材料や用具の生かし方などを総合的に考え、創意工夫してつくること。</p> <p><木彫：小箱></p>	<p>日常生活で使用されている工芸作品を観察し。デザインの要素を自分の作品に生かそうとしている。</p> <p>自分らしさを生かし、創意工夫して進んで授業に取り組んでいる。</p> <p>自他の作品のよさを認め、愛着をもって、大切にしようとする。</p>	<p>小箱の形を生かし。用と美を統合したデザインを工夫している。</p>	<p>発想し、そのイメージをスケッチなどに表す。</p> <p>用と美の調和を吟味し、その特長を生かしてつくる。</p> <p>材料に合った用具を選び、安全かつ適切に用いる。</p>	<p>完成した作品について自分なりの感想を持ち、それを文章で表現できる。</p>
	11										
	12										
	1										
	後 期										
3											

第3学年 A表現 絵や彫刻など・デザインや工芸などに表現する活動

学年目標 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造してゆく意欲と態度を高める。
対象を深く見つめる力、感性や想像力をいっそう深め、独創的・総合的な能力を伸ばす。

学期	月	内 容	美術への関心・意欲・態度	発想や構想	創造的な能力	鑑賞の能力					
前 期	4	形や色彩，材料， 光などがもたらす 性質や感情を理解 し，機能的な生か し方を考え，美的 感覚を働かせて美 しく構成したり， 装飾したりするこ と。 <色彩・構成>	色々な図法や構成の基本 を学び、立体感や奥行き感の 基本的な表し方を理解して いる。	立体感や奥行き感のある 構成を考えることができ る。 変化に富み統一感のある 適切に用いる。 構成ができる。 調和を考えた配色計画を たてることができる。	独創的に発想し，そのイ メージをスケッチなどに 表す。 混色し新しい色が作れる。 構成した下書きを生かし て正確に色を塗ることが できる。	完成した作品について自 分なりの感想を持ち、そ れを文章で表現できる。					
	5										
	6										
	7										
後 期	9						対象を深く見つめ感じ 取ったこと，考えた こと，夢，想像や感情 などの心の世界をス ケッチに表すこと。 主題を発想し，スケ ッチなどを基に想像 力を働かせ，単純化や 省略，強調，構成の仕 方などを工夫し，心豊 かな表現の構想を練 ること。 <自画像>	自らの表現を客観的に振 り返りながらよく表そう とする。	深い観察や想像に基づく 印象，感情，知的に構築 された世界などをイメ ージする。 主題をもとにイメージし た形を用いて構想を練 る。 対象をより深く見つめ， その内容やふんい気をと らえて平面や立体にスケ ッチする。 観察や想像を基に主題を 発想する。	イメージを線や面、色彩 で自分なりに表す。 表現意図に応じ，強調， 省略，単純化することな どを取捨選択する。 光や陰影、色彩を捉え適 切に表現している。	完成した作品について自 分なりの感想を持ち、そ れを文章で表現できる。
	10										
	11										
	12										
後 期	1	伝えたい内容をイラ ストレーションや図， 写真・ビデオ・コンピ ュータ等映像メディ アなど資料を集め，分 かりやすく美しく表 現する方法を工夫す ること。 <スクラッチ>	3年間の中学校生活の記 念になるようなデザイ ンを考え、進んで授業に 取り組んでいる。	卒業の記念にふさわしい デザインを考えている。 素材のもつ形の中にイラ ストやレタリングが効果 的に使われ、バランス良 く構成されている。	図やイラストレーション， 写真，ビデオ，コンピ ュータなどの映像を資料 として用い表現の幅を広 げる。 表現意図に応じ，強調， 省略，単純化することな どを取捨選択する。						
	2										
	3										

第2学年及び第3学年 B鑑賞 鑑賞の活動

学年目標 自然、美術作品や文化遺産などについて理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関わりに関心を持ち、良さを美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

学年	月	内 容	美術への関心・意欲・態度	発想や構想	創造的な能力	鑑賞の能力
3	4	<p>作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを理解し見方を深め、作品に対する自分の価値意識をもって批評し合い、よさや美しさを幅広く味わうこと。</p> <p>ビデオ <ゲルニカ></p>	<p>幅広い鑑賞活動を通して、価値や意識を育て美の発見や見方、理解を深めている。</p>			<p>多様な作品の鑑賞を通して作者の人間性や生き方にふれる。</p> <p>作品の主題と表現の工夫、作者の生きた時代や社会などを幅広く読み取る。</p> <p>作者の生き方や表現の変容を通して自分の生き方を見つめる。</p>
2	1	<p>日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や文化と伝統に対する理解と愛情を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。</p> <p>ビデオ <彫刻にみる日本の良さ・・・></p>	<p>日本美術の大まかな変遷について理解する。</p> <p>文化遺産などから日本的な美意識や、表現の特徴、創造の知恵などについて関心を深める。</p>			<p>日本の美術文化に関心をもち、その価値を自分の生活や表現に生かそうとする。</p> <p>諸外国の作品との比較を試み、西欧との相違や、アジアとの国々との共通点などについて考える。</p>
2	4	<p>日本及び諸外国の美術の文化遺産を鑑賞し、表現の相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさ、創造力の豊かさなどを味わい、文化遺産を尊重するとともに、美術を通じた国際理解を深めること。</p> <p>ビデオ <北斎・ターナー></p>	<p>日本及び諸外国の美術の中から、大切にしたいと思うものや価値を感じるものを探す。</p>			<p>美術作品における日本と諸外国の比較を行うことを通じて、国際的な視点で見たり考えたりする。</p> <p>文化遺産を尊重し、保護していこうとする。</p>
2	9	<p>現代及び文化遺産としてのデザインの洗練された美しさなどを感じ取り、自己の美意識や美的選択能力を高めること。</p> <p>美術作品や生活の中の造形に取り入れられている自然のよさや美しさ、素材の生かし方などを感じ取り、自然や生活と美術との深いかかわりを理解すること。</p> <p>ビデオ <美術の現在></p>	<p>優れたデザインを生活に取り入れ、心豊かな生活を営む感覚・能力や態度を身に付ける。</p> <p>自然の美しさやよさを自らの表現や生活の中に生かそうとする。</p>			<p>自分たちがデザインに囲まれて生活していることや、日常的に美しさを求めた生活行動を行っていることを知る。</p> <p>身近なデザインが、時代とともに変容していく過程を比べる。</p> <p>自然や生活と美の関係について考える。</p> <p>多様な美術を形や色、主題、機能、素材の活用、方法などの観点から、批評してみる。</p>